

平成22年度実施 地域ICT利活用広域連携事業 成果報告書

実施団体名 特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリースターセンター
 特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい
 代表団体名 特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリースターセンター

事業名称

障がい者（高齢者）の旅を受け入れ地から支援する全国情報ネットワークシステムの構築

1 事業実施概要

障がい者にとって、旅行をするためにはさまざまな障壁をのりこえていかなければならないが、適切な情報を得ることでその多くは解消することができる。これまで、各地域のバリアフリー情報は、各地域からの情報発信であったが、ICTを活用した全国ネットワーク化によって情報を一元化し、利便性を大幅に向上させることが可能である。本事業では、全国のモデルとなる15地域選定し、それらの地域の観光に関連した施設（宿泊、飲食、交通、観光施設）のバリアフリー情報を現地調査のもと整理し、ポータルサイトを通じて情報発信する。また、視覚障がい者など情報弱者のための情報発信の仕組みも構築する。

2 目標の進捗状況

(1) 目標の進捗率

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
サイトのアクセス数	300件／日	—	× システム構築に3月後半までかかり、ポータルサイト公開日が3月31日となったことから、外部からのアクセス数把握にまで至らなかった。	・アクセス数の把握 ・サイト利用者からの声（アンケート）
各法人の旅行者の相談件数	100件／日	—	× システム構築に3月後半までかかり、ポータルサイト公開日が3月31日となったことから、相談件数把握にまで至らなかった。	各地域の運用団体への聞き取りによる把握

※○目標を達成。△目標の概ね60%以上達成 ×上記以外

(2) 進捗率の理由（達成状況が△又は×の場合はその理由）

- ・システムの仮公開（関係者のみ）が1月末であり、その後の詳細なシステムの調整、デザインの仕上げなどを経て、一般に向けての公開が3月末となった。そのため、本事業期間中に、一般利用者による評価を十分得るまでに至らなかった。
- ・その要因として、バリアフリー情報の提供に関しては、各地域の団体によるバリアフリー調査の実施と、データの整理作業に2月末までかかったことがあげられる。
- ・また、SNSについては当初、地域SNSであるオープンSNPを活用することで、早めの立ち上げ、運用開始を行う予定であったが、その利用許諾に関して開発者側との調整に時間を要することから、他のSNSシステムであるリージョナルSNSを活用することに変更となった。その結果、当初予定よりもずれこみ、3月初頭の試験運用開始、各種のシステム調整を施した上で3月末の本格運用となった。

3 事業による成果

(1) 事業による成果（アウトプット指標）

項目	成果指数	備考（成果指数の説明等）	調査時期
利用者の参加回数（アクセス回数）	事業期間中のサイト公開とならなかったため、成果把握できず	ポータルサイト「全国バリアフリー旅行情報」のアクセス数	
利用者登録数（サイトの利用者数）	同上	上記サイトの利用者数	
利用件数（相談件数）	同上	電話、メール等による各団体への相談数	
一人当たりの利用頻度・リピート率	同上	サイトアクセスのリピート数	
目的観光地までの到達時間	同上	問い合わせをした人が旅行のプランニングにかかる時間	
情報発信件数	50 コメント ※関係者コメントのみ	ブログの発信、コメント数	3月
販売商品数	事業期間中のサイト公開とならなかったため、成果把握できず	サイトを通じた宿泊施設等への誘客数	
ICT人材育成数	42名（14団体×3名）	デイジーデータの制作手法取得／ウェブアクセシビリティの考え方、技術習得	1月～3月
プログラム（バリアフリー研修）数	5プログラム	バリアフリー研修の実施（観光関連団体等）	1月～3月

(2) 事業による社会的効果等（アウトカム指標）

項目	事業成果	調査内容	算出方法	調査時期
サイトを通じた問い合わせ（相談）数	事業期間中のサイト公開とならなかったため、成果把握できず			
サイトをきっかけになされた旅行者の数（障害者、健常者）	同上。ただし、本事業によるモニタリングツアー参加者の合計は 30 名。	各団体への聞き取り調査	全国各団体からの報告にもとづき算出	2～3月（モニタリングツアー）
旅行者の評価（主観にもとづく感想）	モニタリングツアー参加者からは、試験運用のサイトを活用していた上での参加となったが、いずれも安心して旅ができた、などの声があり、評価は高かった。	モニタリングツアー参加者については、アンケートの実施	モニタリングツアー参加者については、アンケートの意見にもとづく	2～3月（モニタリングツアー）
事案発生数（旅行時の事故）	モニタリングツアー実施による事故はなし。	全国各団体への聞き取り	全国各団体からの報告にもとづく	2～3月（モニタリングツアー）
カルテシステムの活用数	事業期間中のサイト公開とならなかったため、成果把握できず。ただしモニタリングツアー実施における活用は約 30 回活用された。	全国各団体への聞き取り	全国各団体からの報告にもとづく（モニタリングツアーの延べ参加者数と同数）	2～3月（モニタリングツアー）
カルテシステム利用による法人の評価（主観的な評価）	モニタリングツアー参加者に対して、カルテシステムを試験運用させたが、カルテ記入とその活用について、障がい把握するポイントが明確になったなど、各地域の団体からの評価は高かった。	モニタリングツアー実施後のアンケート	モニタリングツアーについては、各団体へのアンケートの意見にもとづく	2～3月（モニタリングツアー）

カルテシステム利用による利用者の評価（主観的な評価）	モニタリングツアー参加者に対して、カルテシステムを試験運用させたが、数人が複数地へのツアーに参加しており、その際のカルテ活用が有効であることが分かった。	モニタリングツアー実施後のアンケート	モニタリングツアー参加者については、アンケートの意見にもとづく	2～3月（モニタリングツアー）
（各地域のバリアフリーサイト）システム利用による法人の評価（主観的な評価）	事業期間中のサイト公開とならなかったため、成果把握できず。 なお、各団体HPのウェブアクセシビリティ改善については利用しやすさ改善の点で評価された。	各法人への聞き取り	各法人への聞き取り意見の抽出	3月
（各地域のバリアフリーサイト）システム利用による利用者の評価（主観的な評価）	事業期間中のサイト公開とならなかったため、成果把握できず。		各法人への聞き取り意見の抽出	

4 システム設計書

別添2のとおり。

<システム運用結果>

1 システム運用で得られた成果

●全国観光地のバリアフリー情報サイトのスタンダードへ

- ・全国14団体による15地域の観光地に関する1000を超えるバリアフリー情報が、一元的にホームページから閲覧できるようになったことは、これまでにない画期的な成果と言える。グーグルマップを活用して、各地域のバリアフリー調査ポイントを閲覧できるようになっているが、全国に調査ポイントが展開されている様子は圧巻である。本事業によってつくられたポータルサイトが、地域をベースとしたバリアフリー情報提供のサイトのスタンダードになること間違いのないであろう。
- ・サイトの構築だけでなく、各地域から情報提供を受ける筋道づくり、各団体に対する研修の仕組みを構築したことも大きな成果である。本サイトに参画する団体、地域は平成23年度以降、さらに募っていく予定であるが、サイトが運用されることで効果を分かりやすく示すことが可能になった。

●様々な障がい者の仕事づくりにつながる

- ・その一方、バリアフリー調査や、デイジー製作を全国各地の団体が実施する中で、それら団体に所属するあるいは関係を持つ、様々な障がい者が、その作業に関わることができた。例えば、東京の橋澤氏は、脳性まひであるが、足の指を繰って観光情報をテキスト入力してデイジーファイルを作成し、その成果品を島根の視覚障害者が読み上げソフトを活用して確認する、ということもあった。

●ウェブアクセシビリティの技術習得が地域ビジネスに

- ・ウェブアクセシビリティの分野は、まだ全国的にも認知が低い状況であるが、本事業を通じて各地域でバリアフリー情報発信に取り組む団体がその技術を習得することができた。それらの団体がウェブアクセシビリティの分野でも各々の地域で、指導的な役割を担うことが期待され、それが各団体の事業収益にもつながっていくであろう。その意味では事業開発と雇用創出にもつながる取り組みができたと言える。

●全国のネットワーク組織に

- ・本事業の終盤、3月11日に、東北で大災害が起こったが、このときに松江で本事業の最終会議が開かれており、仙台、福島からは4名が参加していた。本事業を通じて得られた信頼関係によって、東京の団体を通じて紹介された家で一時滞在し、難をのがれるということがあった。また、震災に関連した様々な情報が、本事業によって構築されたSNSによって行き交うという、想定外の利用もあった。
- ・本事業を通じて再委託をした全国各地の団体と、本事業の実施主体である伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、プロジェクトゆうあいは、委託者、受託者という関係を超えて全国でバリアフリーの旅行を推進するという大きな目標のもと、地域間の強いネットワークを構築することができた。

●バリアフリーの旅を楽しむ全国フォーラム開催へ

- ・3月に松江市で開催された第4回地域協議会の翌日に、「バリアフリー旅行を楽しむ全国フォーラム」が開催され、本事業の関係者だけでなく、行政、観光事業者、福祉団体、研究者等約150名が集まるフォーラムが開かれた。バリアフリーの旅行の推進をテーマにした様々な会議がこれまでも各地で開かれてはいるが、全国規模での開催は、はじめてのことと行っていいだろう。本事業の実施が、このフォーラムの開催にもつながったことは極めて大きな成果である。

2 平成22年度事業実施において明らかとなった課題

●バリアフリー調査受入側の意識づくりの問題

- ・観光地に関するバリアフリー情報を収集する際に、宿泊施設、飲食施設等に対して調査の依頼を行い、その了解を得たところに対して調査する、という方法を原則としているが、残念ながら断られるケースが多い。「わたくしどもの施設はバリアフリーがまだ十分ではありませんので・・・」というような理由がほとんどである。本サイトに掲載している情報は、かならずしも、バリアフリーの施設が十二分に揃っているところのみを取り上げているわけではない。バリアが多くあるとしても、それがどのような状況なのかを写真、コメントで説明することによって、旅行者の側でどのように対処することができるか、その判断するための材料を提供する、ということに大きな意味があると考えている。
- ・しかし、そのような意図を理解していただく、ということが難しいと感じることが多かった。各施設のバリアフリー、そしてバリアの公開に対する意識づくりを、地道に根気強く広めていく必要がある。なお、そのような厳しい状況でもこれら調査が、その地域ごと、その地域の団体が実施したということで、施設との信頼を得られ、調査をスムーズに進めることができたことは確かである。

●デージー情報がサピエ図書館にアップされない

- ・視覚障がい者等に対する観光情報提供の手段として、デージー情報の制作を行い、本サイトを通じて公開をすることとしたが、あわせて情報のアップロードを検討していた視覚障がいの多くが利用するWEB図書館である「サピエ図書館」（全国視覚障がい者情報提供施設協会による運営）では、このコンテンツのアップロードが、現時点では難しいことが分かった。合成音声ソフトを活用した、デージー3.0形式のデータに、サピエ図書館がまだ対応していないことがその要因であるが、サピエ側で現在その対応を検討中であるとの回答を得ており、1～2年の間にはよい方向に向かうものと考えている。

3 自律的・継続的運営の見込み

- ・本事業に参画した（委託した）各団体から、サイト運営の名目で会費を徴収する予定。
- ・新規に本サイトに登録したい、という地域（団体）を募り、そこからの研修費、登録費を見込む。
- ・本サイトの運営に協賛してくださる民間企業との提携を検討する。提携企業からの協賛金、広告費収入を見込む。
- ・以上の事業収入をもとに、伊勢志摩バリアフリースターセンター及びプロジェクトゆうあいの事業共同体として名付けた「日本バリアフリー旅行推進機構」が、本サイトを自律的に運営していく。

4 今後の展開方針

- ・平成22年度の実施事業においては14地域の登録となったが、さらに登録地点を増加させ、最終

的には全県を網羅する情報を集めたい。

- 平成22年度の実施事業においては、各地域平均100施設前後の情報がアップロードされたが、それらの地域情報を、さらに充実させていく。
- ツイッター、既存ブログとの連携や、施設の検索しやすさ向上などユーザビリティのより高いサイトへシステムの改良を図る。
- 旅のコミュニティ（SNS）機能について、利用者の呼びかけを進めるとともに、活発な活用が図られるよう、適切な情報を随時与えるなど、運営側での様々な工夫を行っていく。

5 その他

●新聞記事

・山陰中央新報記事 平成23年3月12日

障害者、高齢者に安心の旅を

バリアフリー情報発信へ



「全国バリアフリー旅行情報」の利用について説明する関係者

HPは、12日に松江市 かけられる「バリアフリーのラムインしまね」で紹介のくにびきメッセで開旅を楽しむ全国フォー

松江市とHPの作成進める

障害者や高齢者に安心して旅行を楽しんでもらおうと、松江市と三重県鳥羽市のNPO法人が、10都道府県の連携団体に呼び掛け、全国13カ所のバリアフリー旅行情報を網羅したホームページ（HP）の作成を進めている。4月上旬の運用開始の予定。

ポータルサイト「全国バリアフリー旅行情報」の作成を進めているのは、NPO法人プロツェクトゆうあい（三輪利春理事長）＝松江市＝と、NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアースタッフ（中村元理事長）＝鳥羽市。総務省の事業を受け、昨年9月から北海道や宮城、福島、東京、鳥取、広島、福岡、沖縄などのNPO法人の協力を得て取り組んでいる。

HPは旅の目的地を選んで検索すると、バリアフリーの観光地や施設などの情報が得られる。また、「旅のカルテ」に登録すると、例えば旅先の宿泊先が旅行者に合ったサービスを準備する。11日には、全国の関係者約50人が松江市内に集まり、HPの仕組みや運用方法などについて意見を交わした。中村理事長は「（HPの）利用者に目を向けた旅行プランを提供したい」と話している。

安全・安心を求めて 最前線ルポ

◇23◇

観光地に出掛けてみた
いけれど、宿泊施設や人
気スポットのバリアフリ
ー情報がつかめず、二の
足を踏む。こんな悩み
を抱く障害者や高齢者ら
は意外に多い。そこで松
江市のNPO法人・プロ



モニタツアーで利用した堀川遊覧船の乗り場で
スロープを利用する参加者。松江市黒田町、松江
堀川ふれあい広場

ジェクトゆうあい(三輪
利春理事長)が4月上旬、
北海道から沖縄までの観
光地13カ所のバリアフリ
ー旅行情報を紹介するホ
ームページ(HP)を立
ち上げる。旅の安全・安
心を担保する試みが、注
目されている。

HPで紹介する観光地
は、旭川(北海道)、東京、
伊勢志摩(三重)、福岡、佐
賀、沖縄など。各地で旅を
得た情報を基に、それぞ
れをサポートする団体が綿密
に調査したバリアフリ
ー情報を掲載する。
希望する観光地の所在
地を検索すると、宿泊施
設や飲食店、駐車場、ト
イレなどについての情報
が得られる。また、HP
で得た情報を基に、それぞ
れのサポート団体に連絡
すると、旅に必要な車い
すや介助、観光ガイドな
どのサービスが受けられ
る仕組みだ。

バリアフリー 旅行情報提供へ

が昨年9月から、三重県
鳥羽市に拠点を置くNPO
法人・伊勢志摩バリア
フリーツアーセンターと
共同開発。全国の間人に
協力を呼び掛け、制作を
進めている。

HPの立ち上げを前
に、プロジェクトゆうあ
いは今年13日、島根県東
部でモニタツアーを実

HP開設し障害者支援

施。事前にサポートスタ
ッフの経験を積み、HP
システムがきちんと機能
するかなどを確かめた。

この日のツアーには、
関係者5人が参加。HP
に関係者が参加。HP
関係者が訪れる場合、2次
に取り上げる予定の松江
城と堀川遊覧を巡る2コ
ースに分かれ、城下町や
出雲大社などを巡った。

堀川遊覧の乗り場(松
江堀川ふれあい広場)で
は、緩やかなスロープを
使って乗船した。車いす
で参加した瀬戸口潤之介
さん(27)「広島県呉市」
は「船頭さんのサポート
もあり、安心した」と満
足そう。

HPは現在、運用開始
に向けて最終チェックの
遊覧船には「船頭さんは
段階だ。実際に作業に当
事いす対応の研修済み」
や「介助の必要な方は申
し出してください」という
板がある」などのバリア
フリー情報を盛り込むと
いう。

出雲大社では、事前に
手配していた現地ボラン
ティアガイドの説明を受
けながら参拝した。

関係者によると、山陰
両県を訪れる場合、2次
交通手段に加え、バリア
フリー情報が限定的にし
か発信されておらず、ど
う情報を集めて紹介する
かが大きな課題になっ
ている。

このため、プロジェクト
ゆうあいではHPを立
ち上げた以降も情報提供
を呼び掛け、より利用者
の視点に立ったHPに進
化させたい考え。

HPは現在、運用開始
に向けて最終チェックの
遊覧船には「船頭さんは
段階だ。実際に作業に当
事いす対応の研修済み」
や「介助の必要な方は申
し出してください」という
板がある」などのバリア
フリー情報を盛り込むと
いう。

●再委託事業者（地域団体）とのネットワーク会議の様子

1) 伊勢志摩ネットワーク会議（第1回地域協議会を兼ねた会議）

日時：平成22年9月9日午後～10日午前

会場：鳥羽シーサイドホテル

参加者：15団体、45名



会議全体の様子



鳥羽市長あいさつ

2) 嬉野会議（第2回地域協議会を兼ねた会議）

日時：平成22年12月20日午後～21日午前

会場：嬉野温泉 和多屋別荘（旅館）

参加者：15団体、45名



会議全体の様子



接遇方法の研修の様子

3) 東京会議 (システム説明)

日時：平成22年1月31日 午後
会場：東京 シーサイドホテル芝弥生 2F
参加者：15 団体、30 名



会議全体の様子



システム開発者のワコムアイティ担当者説明

4) 松江会議 (第4回地域協議会を兼ねた会議)

日時：平成23年3月11日 午後
会場：松江市 島根県民会館会議室
参加者：15 団体、45 名



松江会議の様子



代表の中村元あいさつ

4) バリアフリーの旅を楽しむ全国フォーラム in しまね (本事業と連携したイベント)

日時：平成23年3月12日 午前～午後

会場：松江市 くにびきメッセ国際会議場

参加者：20 団体、150 名



フォーラム全体の様子



松江市松浦市長あいさつ



団体の取り組みの展示の様子

<人材育成状況説明書>

①申請主体におけるICT人材の育成・活用内容

1 ICT人材の育成人数

- バリアフリー情報の収集、整理、発信について
 - ・14団体×4名（平均）＝56名
 - ・うちわけ 障がい者（NPO等職員）：約20名 健常者（NPO等職員）：約36名
 - デイジーについて
 - ・14団体×3名（平均）＝42名
 - ・うちわけ 障がい者（NPO等職員）：約15名 健常者（NPO等職員）：約27名
 - ウェブアクセシビリティについて
 - ・14団体×3名（平均）＝42名
 - ・うちわけ 障がい者（NPO等職員）：約15名 健常者（NPO等職員）：約27名
- ※上記3つの項目については、それぞれ人員は重なっている。

2 ICT人材の育成方法

- バリアフリー情報の収集、整理について
 - ・9月9日～10日に行われた伊勢志摩会議において、バリアフリー情報の収集方法、写真の撮影方法、情報の整理の方法について、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター担当者から、各団体に対しての研修を行った。ツアーセンターとして旅行者からの電話の対応方法については、12月の嬉野会議において、実演をもとに説明を行った。
- デイジーについて
 - ・9月9日～10日に行われた伊勢志摩会議において、プロジェクトゆうあい担当者から、デイジーの目的や使い方、制作方法について説明を行うとともに、専用ソフトの入手方法、ソフトの使い方等について、マニュアルを制作し、各団体担当者に配布した。また、個別に制作に関する指導を、メール、電話にて受け付けた。
 - ・また、デイジー再生端末の操作を習得した。
- ウェブアクセシビリティについて
 - ・12月の嬉野会議において、NPO法人みんなのICT担当者からウェブアクセシビリティの考え方についての講義を行った。さらに同法人が、各地域団体（9団体）に直接出向き、事前に作成した診断書をもとに各団体のウェブサイトに対する個別指導を行った。
 - ・各サイトの修正については、同法人から個別の指導を受けることとした。

3 1で育成等したICT人材の活用人数

- バリアフリー情報の収集、整理、発信について

- ・14団体×4名（平均）＝56名

- ・うちわけ 障がい者（NPO等職員）：約20名 健常者（NPO等職員）：約36名

- デイジーについて

- ・14団体×3名（平均）＝42名

- ・うちわけ 障がい者（NPO等職員）：約15名 健常者（NPO等職員）：約27名

- ウェブアクセシビリティについて

- ・9団体×2名＝18名

- ・うちわけ 障がい者（NPO等職員）：約8名 健常者（NPO等職員）：約10名

※上記3つの項目については、それぞれ人員は重なっている。

4 ICT人材の活用方法

- バリアフリー情報の収集、整理、発信について

- ・各地域のバリアフリー調査（観光施設、宿泊施設、飲食施設、交通施設、車椅子トイレ等）及び、調査結果のデータ整理業務を実際に担ってもらった。

- ・データをサイトにアップロード、編集する作業、旅のカルテの運用、SNSである旅のコミュニティを活用した情報発信を担ってもらった。

- デイジーについて

- ・各地域の観光地の情報について、デイジーのための情報収集、テキスト入力、デイジー編集（文字登録）、デイジー変換にいたる一連の作業を実施してもらった。

- ウェブアクセシビリティについて

- ・NPO法人みんなのICTの指導のもと、団体ごと、運営するホームページについてウェブアクセシビリティの改善を行った。（主にウェブ技術者）

5 次年度以降のICT人材の育成・活用内容（予定）

●バリアフリー情報の収集、整理、発信について

- ・平成22年度事業では14団体を対象としたが、今後はその団体数を増やしていきたいと考えている。そのため、新規団体においては、平成22年度と同様の研修を行い、人材育成を図っていく考えである。
- ・平成22年度に育成した人材については、各団体ごとにバリアフリー情報を充実させていくことは個々の取り組みとなっていくが、本年度身に付けた技術によって、データの収集やアップロードしてもらうことが可能である。

●デイジーについて

- ・観光地の情報源は、様々にあることから、それらを次から次へのデイジーに変換していくことは可能である。また観光情報に限らず、自治体の広報誌などデイジー変換の技術は多岐に活用することができる。

●ウェブアクセシビリティについて

- ・ウェブアクセシビリティを十分に考えているサイトはまだまだ少ない。各地の団体がウェブアクセシビリティの技術を習得したことで、各地域の企業、行政などのサイトを診断し、サイトの改善に道筋をつけることは可能である。
- ・ただし、診断をするには、一定のスキルが必要であり、診断をするための集中的な研修、実習が、さらに必要と考えている。

②事業運営主体におけるICT人材の育成・活用内容

1 ICT人材の育成人数

※申請主体と事業運営主体は同一のため①と同様の回答

2 ICT人材の育成方法

※申請主体と事業運営主体は同一のため①と同様の回答

3 1で育成等したICT人材の活用人数

※申請主体と事業運営主体は同一のため①と同様の回答

4 ICT人材の活用方法

※申請主体と事業運営主体は同一のため①と同様の回答

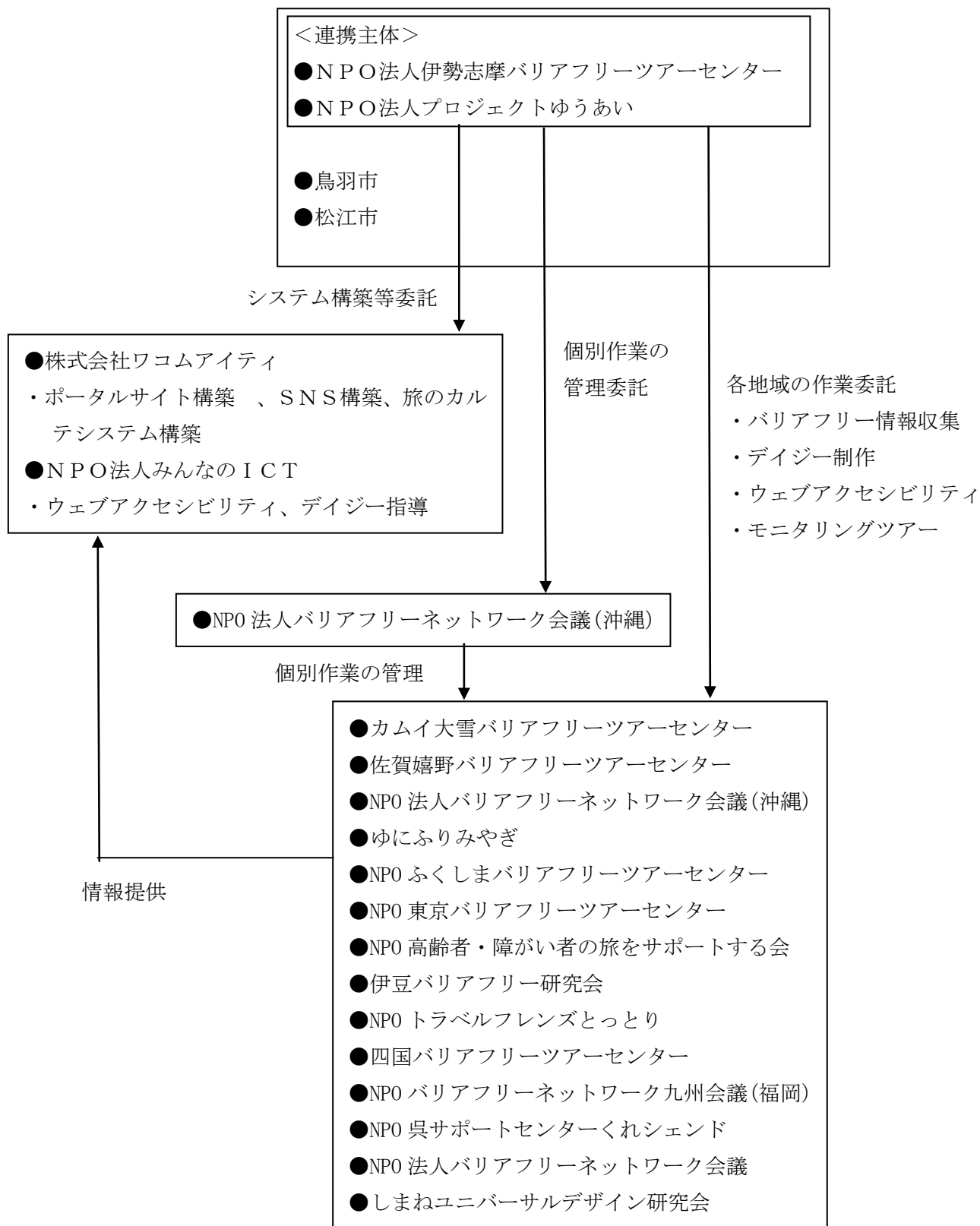
5 次年度以降のICT人材の育成・活用内容（予定）

※申請主体と事業運営主体は同一のため①と同様の回答

<実施体制説明書>

1 実施体制

地域協議会：事業の進行を管理



2 各主体の役割

	名称	役割
地域協議会	NPO 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	事業全体統括 地域ネットワーク会議担当
	NPO プロジェクトゆうあい	デイジー制作、モニタリングツアー、web アクセシビリティ担当
	鳥羽市	地域の情報提供等
	松江市	地域の情報提供等
地域のバリアフリー情報発信団体	NPO 法人バリアフリーネットワーク会議（沖縄）	各地域の調査事業管理 地域バリアフリー情報収集等
	カムイ大雪バリアフリーツアーセンター	地域バリアフリー情報収集等
	ゆにふりみやぎ	地域バリアフリー情報収集等
	NPO ふくしまバリアフリーツアーセンター	地域バリアフリー情報収集等
	NPO 東京バリアフリーツアーセンター	発地からの旅の情報発信
	NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会	地域バリアフリー情報収集等
	伊豆バリアフリー研究会	地域バリアフリー情報収集等
	しまねユニバーサルデザイン研究会	地域バリアフリー情報収集等
	NPO トラベルフレンズとっとり	地域バリアフリー情報収集等
	NPO 呉サポートセンターくれシェンド	地域バリアフリー情報収集等
	四国バリアフリーツアーセンター	地域バリアフリー情報収集等
	佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター	地域バリアフリー情報収集等
	NPO バリアフリーネットワーク九州会議（福岡）	地域バリアフリー情報収集等
ICT 事業者	NPO 法人みんなの I C T	web アクセシビリティ担当
	株式会社ワコムアイティ	システム構築担当

事業実施進行表

<実施スケジュール>

※下記の様式に基づき、今年度の具体的な取り組みを記載すること。

実施内容	平成 22 年 9 月	10 月	11 月	12 月	平成 23 年 1 月	2 月	3 月
地域協議会等開催	◎鳥羽 9/9-10			◎嬉野 12/21-22	◎松江 1/21		◎松江 3/11
人材育成・活用方法の検討・決定	→						
関連機器・設備、システムの検討・決定	→						
関連機器・設備、システム等の調達	→	→	→	→			
人材育成	→	→	→	→	→		
人材活用		→	→	→	→	→	→
システム設計	→	→	→	→	→	→	
システム稼働							→
実績報告作成							→

その他

本事業により構築したウェブサイト

[1]全国バリアフリー旅行情報 ポータルサイト

<http://www.barifuri.jp/portal/>

バリアフリー旅行を提供する、全国バリアフリー観光地情報

● 読み上げブラウザをお使いの方 ● 文字サイズ 普通 大きく

全国バリアフリー旅行情報

ホーム | サイトの紹介 | サポート団体 | ご利用方法 | デイジー情報 | お知らせ

バリアフリー観光地

旭川・北海道 新着情報
仙台(宮城県) 新着情報
福島県 新着情報
東京都・関東 新着情報
伊豆(静岡県) 新着情報
伊勢志摩(三重県) 新着情報
鳥取県 新着情報
島根県 新着情報
呉市(広島県) 新着情報
新居浜市(愛媛県) 新着情報
福岡県 新着情報
佐賀県 新着情報
沖縄県 新着情報

旅の目的地を選んでください
各地域の旅の
バリアフリー情報を
ご紹介します



全施設数:1412件 宿泊施設数:273件

キーワード検索

検索

QRコード

このサイトについて | お問い合わせ | サイトマップ | セキュリティポリシー

日本バリアフリー観光推進機構
〒517-0011
三重県鳥羽市鳥羽一丁目2383-13 鳥羽一番街1F
tel 0699-21-0650 e-mail info@barifuri.jp
Copyright © 2011 日本バリアフリー観光推進機構

「全国バリアフリー旅行情報」は、日本バリアフリー観光推進機構が運営する、全国のバリアフリー観光地の情報ポータルサイトです。障がいや高齢により体が不自由なみなさんに旅を楽しんでいただくために、北海道から沖縄まで全国14の団体が15の観光地を、地元の障がい者が調査と指導を行う『パーソナルバリアフリー基準』によって、ユニバーサルデザインの考えに基づいた旅行のできる観光地に開発しました。本サイトでは現在、UDルームのある旅館など宿泊施設250件を含む、1,500件の施設のバリアフリー情報をご紹介します。

トップページ

全国バリアフリー旅行情報

[ホーム](#)[サイトの紹介](#)[サポート団体](#)[ご利用方法](#)[デイジー情報](#)[お知らせ](#)

ホーム > バリアフリー観光地(島根県)

島根県

島根県は、松江/山陰バリアフリーツアーセンターがバリアフリー調査および指導を行っています。

島根県は神話のふるさと、歴史の詰まった土地です。誰もが知る出雲大社、松江城と堀川遊覧船、世界遺産の石見銀山、津和野が主な観光スポットです。美しい自然の代表としては日本海の孤島隠岐諸島、宍道湖、中海という二つの汽水湖、島根県中部の三瓶山や、県西部、浜田の伸びやかな海浜が有名です。また、玉造温泉、江津の有福温泉は泉質もよく、海や湖の幸に恵まれ、宍道湖のしじみを代表に新鮮でおいしい食べ物には事欠きません。

この地域のサポート団体

松江/山陰バリアフリーツアーセンター
島根県松江市殿町33 坂本ビル
TEL:0852-27-0915



地図画像をクリックするとマップから検索できます ■部分がガイド可能なエリアです

地域の新着情報

- 2011/03/18 フォーラムご参加のみなさまありがとうございます…
- 2011/02/15 島根のブログサンプル その2
- 2011/02/15 3月12日(日)バリアフリーの旅を楽しむ…

[全国の情報へ戻る](#)

検索したいバリアフリー情報を
産んでください

キーワード(名前):

施設別:

- 観光
- 宿泊
- 飲食
- 物販
- 駐車場
- 交通機関
- 公衆トイレ/車いすトイレのある施設

エリア別:

- 松江
- 出雲
- 安来
- 大田・石見銀山
- 浜田
- 益田
- 津和野
- 隠岐

[検索](#)

[このサイトについて](#) | [お問合せ](#) | [サイトマップ](#) | [セキュリティポリシー](#)

日本バリアフリー観光推進機構

「全国バリアフリー旅行情報」は、日本バリアフリー観光推進機構が運営する、全国のバリアフリー観光地の情報ポータルサイトです。島根県は、松江/山陰バリアフリーツアーセンターがバリアフリー調査および指導を行っています。さらに詳しい情報をご相談は、松江/山陰バリアフリーツアーセンターまでお気軽にどうぞ。

電話:0852-27-0915 E-mail: info@tekuteku-sanin.com

地域のページ



地域のページから地図を示す（グーグルマップ活用）



施設の検索結果一覧

ホーム > バリアフリー観光地(伊豆(静岡県)) > バリアフリー情報検索一覧 > 施設詳細

伊豆(静岡県)は、エヌビーオー伊豆バリアフリーツアーセンターがバリアフリー調査および指導を行っています。

施設/設備詳細情報

蔵屋鳴沢 地ビールレストラン(くらやなるさわ)



- 〒410-2113 伊豆の国市中272-1
- TEL:055-949-1208
- FAX:055-949-5022
- URL:<http://www.kurays-narusawa.com>
- 利用できる時間(営業時間):月~木
11:00~15:00 LO14:30 金 10:00~22:00
LO21:00 土日 10:00~22:00 LO21:00
- 定休日:なし
- アクセス方法:
新幹線で:東京→三島60分 名古屋→三島100分 三島より伊豆箱根鉄道で20分
直通特急(踊り子号)で:東京→伊豆長岡120分 伊豆長岡駅よりタクシー5分 バス8分
車で:東京→沼津1070分 名古屋→沼津10150分 沼津IC→反射炉40分



●設備 < 写真を表示 >

障害者駐車場	○	一般駐車場	○
駐車場の仕上げ	アスファルト	駐車場から建物までの屋根	○
入口の段差	あり	段差の解消法あり	○
エレベーター	平屋	車いす対応トイレ	1箇所
便器種類	一般便器	ユニバーサルシート(介護ベッド)	×
オストメイト対応トイレ	×	洋式トイレ	○
特別食対応	○	テーブル席	○
テーブルの椅子	可動		

●駐車場

駐車場	○(屋根なし)	障害者用駐車場	○(屋根なし)
駐車場から建物までの屋根	○	駐車場の仕上げ	アスファルト

●車いす専用トイレ < 写真を表示 >

場所	レストラン 1F	便座種類	一般便座
----	----------	------	------

●店内情報

蔵屋鳴沢			
テーブル席			○
特別な食事対応	アレルギー食		○
	きざみ食		○
	ミキサー食		△
	減塩食		○
	その他		

施設のバリアフリー情報

ホーム > バリアフリー観光地(伊豆(静岡県)) > 施設一覧 > 施設詳細 > 写真一覧

伊豆(静岡県)は、エヌビーオー伊豆バリアフリーツアーセンターがバリアフリー調査および指導を行っています。

<< 施設詳細へ戻る

●設備

便座種類



一般便器
かコロニー

一般駐車場



一般駐車場

テーブル席



テーブル席

テーブルの椅子



テーブルの椅子

車いす対応トイレ



車いす対応トイレ

障害者駐車場



障害者駐車場

一般駐車場 駐車場の仕上げ



駐車場の仕上げ

駐車場から建物までの屋根



駐車場から建物までの屋根

駐車場から建物までの屋根



駐車場か

駐車場から建物までの屋根




駐車場から建物までの屋根

より詳細なバリアフリー情報 (写真)

これら施設情報が、サイト内の合計で 1400 にのぼる。

[2] 旅のコミュニティ (SNS)

<http://www.barifuri.jp/sns/>

 全国バリアフリー旅行情報
旅のコミュニティ

トップ プログー覧 談話室検索 ログイン

ようこそ 旅のコミュニティへ！

●旅のコミュニティとは
自分の行ったことのある旅のおもしろ話で盛り上がりがあったり、同じような障がいのあることで共感したり、あるいはバリアフリーツアーセンターのスタッフと裏話をしたり・・・つまり、旅のSNSは旅人の声と声、気持ちと気持ちをつなぐ、インターネット上でのコミュニケーションを豊かにするための仕組みです。ぜひ気軽に参加ください。

なお、このSNSは、必ず誰かに招待してもらったことを前提としています。くわしくは下記「参加の方法」をごらんください。

●主な機能

ア)マイフレンズ

- 旅のSNSに登録している利用者の中で、これは、と思う人に声をかければ(招待すれば)、旅のマイフレンズとして、次つぎに友達の輪が広がります。

イ)ブログ機能

- インターネット上で日記をつくることができます。あそこへ行って、こんな楽しい旅をした、ということを書き込むことで、それを多くの人に見てもらえるだけでなく、コメントをもらうこともできます。もちろん写真も掲載できます。

ウ)コミュニティ機能

- 何かテーマを見つけて、多数の人と話したいときの機能です。たとえば、「車いすで電車にのるときに困ること」というテーマをかかげると、実際に困ったことがあるという話が、次つぎに集まってきます。

エ)メッセージ機能

- 電子メールと同じように、特定の人に対してメッセージを送る機能です。ただし、メールアドレスが明かさないでも1対1でやりとりができるというメリットがあります。

オ)公開範囲について

- ブログや、コミュニティに書き込むときに、どの範囲で公開できるかを設定することができます。一番狭いのは、マイフレンズの範囲、次に旅のSNS利用者の範囲、そしてインターネットが見れる誰でもオーケー、という全体公開です。例えば、より具体的な旅の予定を話しあうときなどは、マイフレンズの範囲がよいでしょうし、楽しかった旅の経験をより広くに伝えたい場合には、全体公開がよいでしょう。

●参加する方法

<知人がすでに旅のSNSに入っている場合>

- 1)知人にサイト上で招待の手続きをしてもらいます。ログインした、知人のページの中で、フレンドのタブをクリックすると、上のほうに「フレンド招待」があります。これをクリックし、自分のメールアドレス、宛先氏名、コメントを記入し、送信してもらいます。
- 2)自分に知人から招待のメールがとどきます。
- 3)メールに記載されているURLを開きます。
- 4)ID(通常はメールアドレス)と、パスワード入れて、登録ボタンをおすと、SNSに加入です。

<知人が旅のSNSに入っておらず、自分から入りたいとき>

旅のコミュニティ トップ


全国バリアフリー旅行情報
旅のコミュニティ

[トップ](#) [メッセージ](#) [マイ・ブログ](#) [ブロッガー一覧](#) [談話室](#) [利用者検索](#) [マイフレンズ](#)

[プロフィール\(りゅう\)](#) [設定](#) [ログアウト](#)

田中隆一の旅のバリアフリーブログ

旅のバリアフリーに関係するいろいろな人との出会いをお話していきたいと思います。

2011-03-28

デイジーのデータ

デイジーのデータがアップされました。
 メインメニューからデイジーに入って、
 データをダウンロードします。

PCで再生するには、AMISのダウンロードが事前に必要ですが、
 それで、簡単に再生することができます。

なかなか、いいじゃん！
 というのが正直な感想です。


バリアフリーの調査データは施設データですが、
 このデイジーデータは、観光地の全体像を整理して
 紹介してくれるので、その土地がすごくイメージしやすいです。

[編集](#) | [削除](#)

2011-03-20

東日本災害路線マップ

ブログ機能


全国バリアフリー旅行情報
旅のコミュニティ

[トップ](#) [メッセージ](#) [マイ・ブログ](#) [ブロッガー一覧](#) [談話室](#) [利用者検索](#) [マイフレンズ](#)

[プロフィール\(りゅう\)](#) [設定](#) [ログアウト](#)

災害関係のこと・トピック一覧

[新規トピック作成](#)

みやぎ、福島のみなさんへ (オーナー: りゅう)

みやぎのみなさん、福島のみなさん、先日のフォーラムではご参加ありがとうございました。災害になり、いろいろお困りのことがありましたら、ご連絡ください。


[編集](#) | [削除](#)

[戻る](#)

談話室機能

[3] 旅のカルテシステム

<https://www.barifuri.jp/kartep/>



全国バリアフリー旅行情報 旅のカルテシステム

トップ > 旅のカルテ登録

お客様基本情報

お名前 漢字(必須)	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
お名前 ひらがな(必須)	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/>
性別(必須)	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
生年月日(必須)	西暦 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 (受付時年齢 <input type="text"/> 歳) ※半角数字で入力してください
ご住所(推奨)	〒 <input type="text"/> 北海道 <input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/> 例)0852-00-0000
FAX番号	<input type="text"/> 例)0852-11-1111
携帯電話番号	<input type="text"/> 例)090-0000-0000
携帯使用者	<input type="text"/>
メールアドレス(必須)	<input type="text"/> 例)karte@karte.jp
お身体の状態について	<input type="checkbox"/> 手動車いす(自走式) <input type="checkbox"/> 手動車いす(介助式) <input type="checkbox"/> 電動車いす <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 視覚障がい(全盲) <input type="checkbox"/> 視覚障がい(弱視) <input type="checkbox"/> 聴覚障がい <input type="checkbox"/> 知的発達障がい <input type="checkbox"/> 精神障がい <input type="checkbox"/> 半身不随(右) <input type="checkbox"/> 半身不随(左) <input type="checkbox"/> 内部疾患 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>

障がい内容(該当する障がいにチェックを付けてください)
 肢体不自由 | 視覚障がい | 聴覚障がい | 知的発達障がい | 精神障がい | その他の障がい及び重複障がいについて

<input type="checkbox"/> 肢体不自由	
障がいの状態	<input type="checkbox"/> 脳血管障がい(右マヒ 左マヒ) <input type="checkbox"/> 脳性麻痺 <input type="checkbox"/> 脊髄損傷(頸椎) <input type="checkbox"/> 脊髄損傷(腰椎) <input type="checkbox"/> 脊髄損傷(胸椎) <input type="checkbox"/> リウマチ <input type="checkbox"/> 高齢のため <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>
移動の方法	<input type="checkbox"/> 自走・手動車いす <input type="checkbox"/> 介護・手動車いす <input type="checkbox"/> 電動車いす <input type="checkbox"/> ストレッチャー <input type="checkbox"/> 特殊電動車いす(<input type="text"/>) (車いすの場合 <input type="radio"/> 操作できる <input type="radio"/> 操作もするが介助もしてもらう <input type="radio"/> 常に介助が必要 <input checked="" type="radio"/> 未回答) <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 車いす・杖などは使用していない <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>
段差の乗り越えについて	自力で乗り越えられる段差の高さ <input type="text"/> cm
車いす	※一般の車いすの場合は必要ありません サイズ 全長 <input type="text"/> cm、全幅 <input type="text"/> cm、全高 <input type="text"/> cm 折り畳んだサイズ 全幅 <input type="text"/> cm、全高 <input type="text"/> cm 重さ 約 <input type="text"/> kg

カルテの内容 この内容をバリアフリーツアーセンター間で共有できる

全国バリアフリー旅行情報

ホーム
サイトの紹介
サポート団体
ご利用方法
デイジー情報
お知らせ

ホーム > デイジー情報

デイジー規格による観光地の情報

<目次>

1. デイジーは誰もがアクセスしやすい情報システムの規格
2. 観光地の情報をデイジーで提供
3. 本サイトでダウンロードできるデイジーデータと再生ソフト
4. ダウンロード方法
5. 各地の観光デイジーデータ(ダウンロード)

1. デイジーは誰もがアクセスしやすい情報システムの規格

デイジーとは、Digital Accessible Information Systemの略で、一言でいうと、誰もがアクセスしやすい情報システムの規格です。ここ数年、視覚障がい者や識字障がい者(文字を読むことが困難な方)のために、カセットや、従来の音声CDに代わる、新たなデジタル録音図書国際標準規格として開発されました。デイジー図書は、専用の機械、または専用ソフトの入ったパソコンを用い、音声で再生することができます。目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができるため、従来のカセットテープや音楽CDなどの音声データに比較すると、ユーザーの使い勝手が非常によいものとなっています。また、パソコンで再生すれば、文字の拡大や読み上げ場所を示すこともできます。国内では、点字図書館や一部の公共図書館、ボランティアグループなどでデイジー図書が製作され、主にCD-ROMによって貸し出されているほか、ホームページから直接データをダウンロードできる場合もあります。

2. 観光地の情報をデイジーで提供

近年、小型で持ち運びが容易なデイジー専用再生機が発売されたことで、視覚障がいの方も旅先で読書をする(録音図書で様々な情報に接することができる)ようになりました。しかし、これまで全国でもデイジー化された観光パンフレットはほとんどなく、全国の観光情報が統一されたフォーマットで紹介されているサイトがありませんでした。本サイト「全国バリアフリー旅行情報」では、視覚障がい者など、デイジー端末、あるいはデイジー再生が可能なPCを利用される方のために、全国各地の観光情報を、デイジー規格によりデータ化しました。観光情報をデイジー化することで、視覚障がいのある方、識字障がいのある方にも各地の魅力を知っていただき、旅にできるきっかけにしたいと思っています。

3. 本サイトでダウンロードできるデイジーデータと再生ソフト

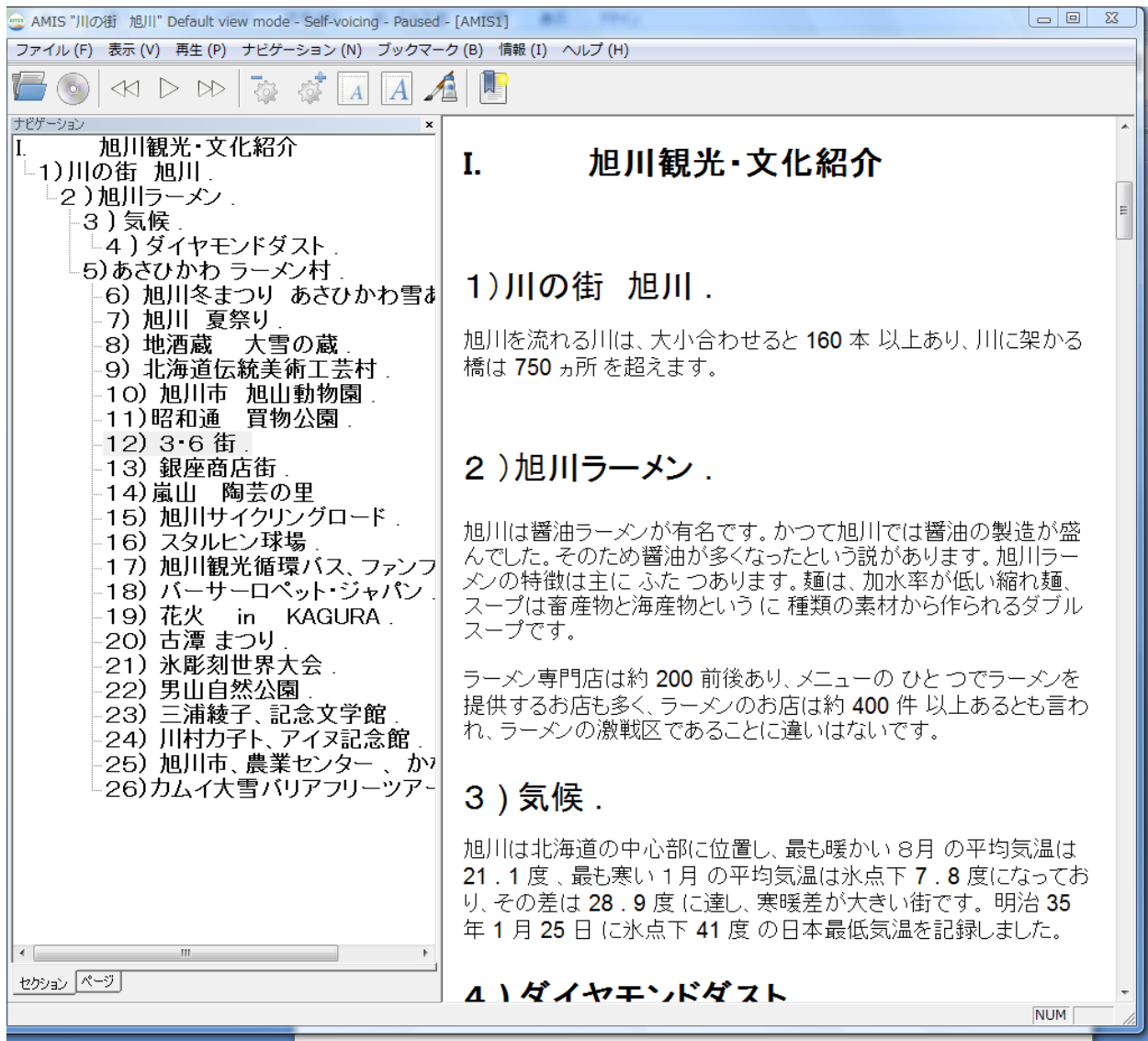
観光地情報のデイジーデータを無料でダウンロードしていただけます。音声とテキストが、同時に再生できるマルチメディアデイジーという形式で提供いたします。なお音声は、ロボットの声(合成音声)であることをご了承ください。パソコンでは、amis3.1という無料のソフトをインストールしていただく必要があり、再生していただけます。amis3.1をお持ちでない方は、下のホームページからダウンロードし、同じページにあるマニュアルにしたがってインストールしてください。

amis3.1のダウンロードページはこちらです。
http://www.dinfne.jp/doc/daisy/software/amis3.1_install.html

専用再生機で聞いていただく場合は、フレクストークポケットのようなマルチメディアデイジーに対応している再生機で聞いていただけます。(卓上型のデイジー再生機では機種によって聴くことができない場合があります)

4. ダウンロード方法

本ページのいちばん下から、目的の観光地情報を選び、「ダウンロード」をクリックしてください。「このファイルを実行または保存しますか」というメッセージが表示されましたら、タブキーで移動して、「保存する」をクリックしてください。保存場所を選び、保存ボタンを押してください。



デジターの再生画面 観光地情報を音声読み上げで聞くことができる